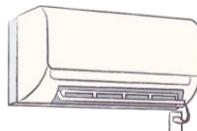


# 夏季の省エネ

に取り組みましょう

全家庭で消費電力の1%を削減すると、毎日、コンビニ約1万8千店舗が消費する電力と同程度のエネルギーが削減できます。

## 冷房の省エネ対策



- 室内の冷やしすぎに注意し、無理のない範囲で室内温度を上げる。  
※熱中症にご注意ください。

省エネ効果

約5%

- 目詰まりしたフィルターを清掃する。

約2%

省エネ効果

約2%

## 照明の省エネ対策



- 不要な照明は消す。

- リビングや寝室の照明の明るさを下げる。

約3%

## 冷蔵庫の省エネ対策



- 冷蔵庫の冷やしすぎを避け（強→中）、扉を開ける時間を減らし、食品を詰め込みすぎないようにする。

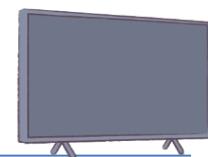
省エネ効果

約1%

省エネ効果

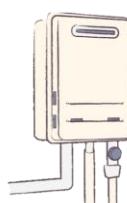
約2%

## テレビの省エネ対策



- テレビは省エネモードに設定し、画面の輝度を下げる。見ていらない時は消す。

## 給湯の省エネ対策



- お湯の出し過ぎに注意し、シャワー時間を短くする。
- 食器を洗うときは給湯温度を低く設定する。

## 自動車の省エネ対策



- 自動車を利用する場合には、エコドライブ10のすすめを実践する（ふんわりアクセル、減速時は早めにアクセルを離す、無駄なアイドリングをしない等）。

※「省エネ効果」は点灯帯（19時頃）の家庭の電力使用量に対する省エネ効果の概算値で、地域・時間帯による違いを考慮に入れた全国平均の値です。地域・時間帯により省エネ効果は変動します。

経済産業省では、企業・家庭向けの省エネ支援を強化しています。

企業には省エネ設備への更新や省エネ診断、家庭には高効率給湯器の導入などを支援しています。詳細は「省エネポータルサイト」をご覧ください。



省エネポータルサイト

検索



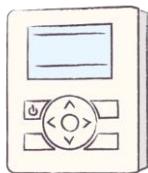
経済産業省  
資源エネルギー庁  
Agency for Natural Resources and Energy

# 夏季の省エネ

に取り組みましょう

全オフィスで消費電力の1%を節電すると、  
毎日、家庭約16万世帯が消費する電力と同程度のエネルギーが削減できます。

## 冷房の省エネ対策



省エネ効果

- 執務室の冷やしすぎに注意し、無理のない範囲で室内温度を上げる。 約4%

- 日中の日射を避けるために、ブラインド、カーテン、遮熱フィルム、ひさし、すだれを活用する。 約4%

- 使用していないエリア（会議室、休憩室、廊下等）は、空調を停止する。 約2%

## 照明の省エネ対策



省エネ効果

- 可能な範囲で執務室や店舗エリアの照明を間引きする。（省エネ効果は照明を半分程度間引きした際の数値） 約13%

- 使用していないエリア（会議室、休憩室、廊下等）は、消灯する。 約3%



## 機器の省エネ対策

省エネ効果

- 長時間離れるときは、OA機器の電源を切るか、スタンバイモードにする。 約4%

## その他の省エネ対策

- 自動車を利用する場合には、エコドライブ10のすすめを実践する。（ふんわりアクセル、減速時は早めにアクセルを離す、無駄なアイドリングはしない等）



- 暖房便座は使用状況を確認し、夏は便座や水の温度設定を「切」にする。



- 電気ポットを使わないときは、電源をオフにする。



※「省エネ効果」は点灯率（17時頃）のオフィスの電力使用量に対する省エネ効果の概算値で、地域・時間帯による違いを考慮に入れた全国平均の値です。地域・時間帯により省エネ効果は変動します。

経済産業省では、企業・家庭向けの省エネ支援を強化しています。

企業には省エネ設備への更新や省エネ診断、家庭には高効率給湯器の導入などを支援しています。詳細は「省エネポータルサイト」をご覧ください。



省エネポータルサイト

検索



経済産業省  
資源エネルギー庁  
Agency for Natural Resources and Energy